

9月6日(木)～7日(金)に開催しました見学会の様をお知らせします。



平成30年9月6日(木)～7日(金)、宿泊で下記施設の見学会を開催し、16社22名の会員さまにご参加いただきました。

- ・福島給食センターさま、大熊食堂さま
- ・J-Villageさま
- ・福島第一原子力発電所(以下、発電所)

●福島給食センターさま、大熊食堂さま

福島給食センターは、当会会員さまである前田建設工業株式会社さまの設計・施工で、2015年3月に運用を開始した、発電所へ「温かい食事」を提供するための施設です。

現在、約100名の従業員の皆さんが、1日に約1700食の食事を提供されています。



見学会の当日には、設計をご担当になった綱川さまにお越しいただき、ご説明を頂戴しました。事務局として改めてお礼申し上げます。

大熊食堂は、東京電力の社員寮に併設された食堂で、平日のランチのみ一般の方もご利用頂けます。



●J-Village(J ヴィレッジ)さま

J-Villageさまは、H30.7.28に再始動したサッカーのナショナルトレーニングセンターです。

熱源設備の他、展望コーナーから自慢のサッカーグラウンドと広野火力発電所を見学させていただきました。



●福島第一原子力発電所

二日目の9:00～13:00で見学して頂きました。旧PR館で以下の概要を説明して頂いた後、専用のバスで発電所構内をご見学頂きました。

- ・東日本大震災時の被災・被害の状況
- ・1～4号機の廃炉作業の状況
- ・汚染水対策と汚染水の発生状況
- ・作業環境の改善状況(一般作業着での作業可能リアが95%を超えた)



個人線量計の見方の説明を受けて頂いてから構内へ。



各原子炉建屋の状況をご覧頂きました。



汚染水タンクの大きさを実感頂けますでしょうか？



実証実験中の自動運転バスをご覧頂きました。



ご参加頂いた皆さまには、発電所作業員の皆さんが食事をされている大型休憩施設の食堂で、福島給食センターさまで作られた食事をとって頂きました。

●アンケート

ご参加くださった会員さまから頂戴した主なご意見を紹介します。

- (1)印象に残っている場所・事柄など
 - ・時間が止まっている道路沿いの町並みを見て、現実を思い知らされ、言葉を失い、涙が出た。
 - ・2号機と3号機の間から水素爆発による損傷状況を目の当たりにしたこと
 - ・線量計の数値が0.01mSV(歯科レントゲン相当)であり、想像していたよりも低かったこと
- (2)見学して見方が変わったこと
 - ・メディアで紹介されていないことが多々あった
 - ・危険な箇所はあるが、部分的であること(思ったよりも安全)

■速報 ～ 技術部会発表会 ～

日時 平成30年10月24日(水) 15:30～17:00

場所 東京電力ホールディング(株) 新別館

参加者 19社26名

(発表内容は別途蒼流でお知らせします)



■お知らせ ～ 設備見学会 ～

日時 平成30年11月28日(水) 15:30～17:00

場所 大手町パークビルさま

丸の内熱供給関連設備+お堀浄化施設

所在地: 千代田区大手町1-1-1

募集人員 25名

■お知らせ ～ 経営者懇話会 ～

(会員の皆さまへは正式なご案内を別途差し上げます)

日時 平成31年1月22日(火) 15:30～18:30(予定)

場所 シェラトン都ホテル東京さま

ご講演者

東京電機大学 常務理事 射場本忠彦さま

銀座・ビルエネルギー研究会 事務局
〒160-8440 東京都新宿区新宿5-4-9
東京電力エナジーパートナー株式会社
E&G事業本部 東京本部内 編集発行人 山田
TEL:03-6375-0115 FAX: 03-5361-2796
<http://www.ginza-birueneken.com/> (H30.2リニューアル)